



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月7日

上場会社名 株式会社 ムサシ 上場取引所 東  
 コード番号 7521 URL <http://www.musashinet.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽鳥 雅孝  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務部長 (氏名) 村田 進 TEL 03-3546-7710  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月8日 配当支払開始予定日 平成29年12月15日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	16,124	△11.9	△92	—	△50	—	68	△90.1
29年3月期第2四半期	18,299	7.0	999	89.7	1,058	79.3	692	85.0

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 80百万円 (△89.3%) 29年3月期第2四半期 752百万円 (81.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	9.21	—
29年3月期第2四半期	93.09	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	42,993	26,791	62.3
29年3月期	41,183	26,860	65.2

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 26,791百万円 29年3月期 26,860百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	18.00	—	20.00	38.00
30年3月期	—	12.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,369	8.8	1,170	5.6	1,211	△2.5	836	6.9	112.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	7,950,000株	29年3月期	7,950,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	506,537株	29年3月期	506,463株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	7,443,512株	29年3月期2Q	7,443,537株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や設備投資の改善、良好な雇用環境が続き、緩やかな回復基調を維持しましたが、北朝鮮情勢や米国の政策動向、欧州の政治リスクなど海外経済の懸念材料により先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループの各セグメントの概況は以下の通りであります。

#### (情報・印刷・産業システム機材)

情報・産業システム機材は、スキャナー等の電子化機器の販売は順調でしたが、文書のデジタル化事業において大口案件の減少などの影響により低調に推移いたしました。

印刷システム機材は、予想以上の印刷需要の低迷と販売単価の下落、競合激化などの影響により、印刷機器・材料の販売ともに落ち込みました。また、販売減に伴い収益性も低下いたしました。

#### (金融汎用・選挙システム機材)

金融汎用システム機材は、金融機関や流通業における貨幣処理機器の更新の遅れと、セキュリティ機器の商談遅延の影響を受け低調に推移いたしました。

選挙システム機材は、7月の東京都議会選挙をはじめ地方選挙向けに機器や投開票システム等の販売が好調だったほか、9月の衆議院解散により同選挙向け投票用紙を中心とした機材の販売が上乘せとなり大幅に伸びいたしました。

#### (紙・紙加工品)

紙・紙加工品は、医薬品や化粧品向け紙器用板紙の販売は伸びましたが、印刷用紙の販売が需要減少の影響を受け、若干低調に推移いたしました。

#### (不動産賃貸・リース事業等)

不動産賃貸業、リース事業等は堅調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高161億24百万円（前年同四半期比11.9%減）、営業損失92百万円（前年同四半期は営業利益9億99百万円）、経常損失50百万円（前年同四半期は経常利益10億58百万円）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は68百万円（前年同四半期比90.1%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産の残高は326億97百万円となり、前連結会計年度末より11億56百万円増加いたしました。増加の主な要因は、受取手形及び売掛金の増加（23億25百万円）及び棚卸資産の増加（9億25百万円）、減少の主な要因は、現金及び預金の減少（22億20百万円）であります。

#### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末の固定資産の残高は102億95百万円となり、前連結会計年度末より6億53百万円増加いたしました。増加の主な要因は、連結範囲の変更に伴うのれんの増加（3億91百万円）及び投資その他の資産の「その他」の増加（3億36百万円）であります。

#### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債の残高は137億74百万円となり、前連結会計年度末より17億50百万円増加いたしました。増加の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加（19億26百万円）、減少の主な要因は、未払法人税等の減少（1億94百万円）であります。

#### (固定負債)

当第2連結会計期間末の固定負債の残高は24億27百万円となり、前連結会計年度末より1億28百万円増加いたしました。増加の主な要因は、固定負債の「その他」の増加（1億円）であります。

#### (純資産)

当第2連結会計期間末の純資産の残高は267億91百万円となり、前連結会計年度末より68百万円減少いたしました。減少の要因は、剰余金の配当1億48百万円、増加の要因は、親会社株主に帰属する当期純利益68百万円及びその他包括利益の増加（11百万円）であります。

この結果、自己資本比率は62.3%（前連結会計年度末は65.2%）となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の期末残高は前連結会計年度末に比べ23億20百万円減少し、164億4百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は2億20百万円となりました。(前年同期は24億55百万円の資金獲得)

これは、税金等調整前四半期純利益1億30百万円、減価償却費1億47百万円、たな卸資産の減少1億円、仕入債務の増加1億36百万円等の収入要因がありましたが、投資有価証券売却益1億80百万円、売上債権の増加2億58百万円、その他の流動負債の減少1億61百万円、法人税等の支払額1億87百万円等の支出要因により相殺されたことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は19億52百万円となりました。(前年同期は2億30百万円の資金使用)

これは、投資有価証券の売却等による収入2億95百万円等の収入要因がありましたが、定期預金の預入・払戻(純額)による支出1億円、固定資産の取得等による支出1億8百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出19億68百万円等の支出要因により相殺されたことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億48百万円となりました。(前年同期は74百万円の資金使用)

これは、配当金の支払1億48百万円の支出によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年10月31日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	19,615	17,394
受取手形及び売掛金	9,020	11,345
商品及び製品	1,555	2,446
仕掛品	77	85
原材料及び貯蔵品	759	784
その他	518	645
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	31,541	32,697
固定資産		
有形固定資産	3,290	3,257
無形固定資産	137	525
投資その他の資産	6,213	6,513
固定資産合計	9,641	10,295
資産合計	41,183	42,993
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,365	6,291
電子記録債務	2,697	2,657
短期借入金	3,516	3,516
未払法人税等	312	118
賞与引当金	379	431
その他	753	759
流動負債合計	12,023	13,774
固定負債		
退職給付に係る負債	206	196
役員退職慰労引当金	1,188	1,226
その他	903	1,004
固定負債合計	2,298	2,427
負債合計	14,322	16,201
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	2,005	2,005
利益剰余金	23,741	23,661
自己株式	△576	△576
株主資本合計	26,378	26,297
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	494	455
退職給付に係る調整累計額	△12	37
その他の包括利益累計額合計	481	493
純資産合計	26,860	26,791
負債純資産合計	41,183	42,993

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	18,299	16,124
売上原価	14,116	12,986
売上総利益	4,183	3,138
販売費及び一般管理費	3,183	3,231
営業利益又は営業損失(△)	999	△92
営業外収益		
受取利息	14	12
受取配当金	32	31
持分法による投資利益	5	8
貸倒引当金戻入額	3	—
その他	24	20
営業外収益合計	80	72
営業外費用		
支払利息	16	16
子会社株式取得関連費用	—	8
その他	4	4
営業外費用合計	20	29
経常利益又は経常損失(△)	1,058	△50
特別利益		
投資有価証券売却益	—	180
特別利益合計	—	180
特別損失		
ゴルフ会員権評価損	3	—
減損損失	4	—
特別損失合計	7	—
税金等調整前四半期純利益	1,051	130
法人税、住民税及び事業税	427	103
法人税等調整額	△69	△41
法人税等合計	358	62
四半期純利益	692	68
親会社株主に帰属する四半期純利益	692	68

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	692	68
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	△42
退職給付に係る調整額	46	50
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	3
その他の包括利益合計	59	11
四半期包括利益	752	80
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	752	80



(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,051	130
減価償却費	145	147
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△180
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	0
賞与引当金の増減額(△は減少)	35	△5
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	8	△10
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	45	△20
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	46	38
受取利息及び受取配当金	△47	△43
支払利息	16	16
為替差損益(△は益)	2	△1
持分法による投資損益(△は益)	△5	△8
売上債権の増減額(△は増加)	1,640	△258
たな卸資産の増減額(△は増加)	157	100
その他の流動資産の増減額(△は増加)	229	6
仕入債務の増減額(△は減少)	△880	136
未払金の増減額(△は減少)	△10	51
その他の流動負債の増減額(△は減少)	239	△161
減損損失	4	—
その他	△14	3
小計	2,661	△60
利息及び配当金の受取額	46	43
利息の支払額	△16	△16
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△236	△187
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,455	△220
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△200	△300
定期預金の払戻による収入	100	200
有形固定資産の取得による支出	△107	△90
有形固定資産の売却による収入	1	1
無形固定資産の取得による支出	△6	△18
投資有価証券の取得による支出	△5	△5
投資有価証券の売却による収入	10	295
貸付けによる支出	—	△0
貸付金の回収による収入	0	0
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△1,968
その他	△22	△65
投資活動によるキャッシュ・フロー	△230	△1,952
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△74	△148
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74	△148
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,148	△2,320
現金及び現金同等物の期首残高	16,763	18,725
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,912	16,404

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報・印刷・ 産業システム 機材	金融汎用・選 挙システム機 材	紙・紙加工品	不動産賃貸・ リース事業等	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	11,011	4,217	2,962	108	18,229	-	18,299
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	2	72	-	139	213	△213	-
計	11,013	4,289	2,962	247	18,513	△213	18,299
セグメント利益又は損 失(△)	△127	1,048	2	74	998	1	999

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	情報・印刷・ 産業システム 機材	金融汎用・選 挙システム機 材	紙・紙加工品	不動産賃貸・ リース事業等	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	10,177	2,641	3,206	100	16,124	-	16,124
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	0	-	-	144	145	△145	-
計	10,178	2,641	3,206	244	16,270	△145	16,124
セグメント利益又は損 失(△)	△156	1	△8	69	△94	1	△92

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第2四半期連結会計期間において、エム・ビー・エス株式会社の株式を取得し、新たに連結の範囲に含めております。これにより、前連結会計年度の末日に比べ、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの資産の金額は「情報・印刷・産業システム機材」において8億22百万円、「紙・紙加工品」において34億70百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「情報・印刷・産業システム機材」「紙・紙加工品」セグメントにおいてエム・ビー・エス株式会社の株式取得に伴い、当第2四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては397百万円であります。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。